

第 212 回  
定例探鳥会

日時：2004 年 8 月 8 日 (日) 天候：晴れ  
コース：高来神社 化粧坂 水道山 ふれあい会館

今回は水道山から高麗山の南面をめぐる大磯駅近くのふれあい会館前の公園で鳥あわせを行い、そこからアオバトの観察希望参加者と共に照ヶ崎へ行くコースを回ってみました。

住宅地から高麗山の南面を見ながら化粧坂をまわり、水道山に着くとツバメの幼鳥が舞っていてイワツバメとの違いなど話していると、親鳥だろうか空中で幼鳥に採餌を何度か行っている姿を観察。ハシブトガラスがミズキの熟したの実を食べているのを見たりして面白いと喜んでいたら、少し移動した湘南平が見える場所で、その後アオゲラの姿、ガビチョウの鳴き声、8:50頃になるとアオバトの大きな群れが海方向にどんどん飛んでいった。結局80羽ほどが海方向に、100羽以上が山方向に移動するアオバトの姿を観察した。見事でした。探鳥会でこんな大きな群れの移動を見たのは初めてでした。

これで終わったと思ったら、今度は上空をミサゴが白い下面を見せ移動していく、そしてオオタカ若鳥、チョウゲンボウと、ここでジッとしているだけでどんどん鳥たちが感動させてくれた。

その後ふれあい会館前の公園まで移動して鳥あわせを行い、ひとまず解散して第2弾の希望者で照ヶ崎へアオバトの観察、これをお目当てで来た参加者は山での大移動を観察しているのでさらに感動した様子でした。

例年暑い山の中を歩いて鳥の数が少ないのですが、今日は鳥の数や種類も多く、楽しい探鳥会でした。

参加者		参加人数 29 名 (敬称略)		
1. 小野 肇	2. 八木 正	3. 大谷 道男	4. 大谷 秋代	5. 小宮ふみえ
6. 下倉 紘一	7. 山田 文則	8. 川口真理子	9. 染谷 方子	10. 木田 ハマ
11. 鈴野 嘉久	12. 伊藤 (桐生) ?	13. 小林めぐみ	14. 中島 朗	15. 白井 弘恭
16. 紺 龍彦	17. 室野 義晴	18. 古賀 勝秋	19. 大友 暁	20. 松下 弓子
21. 大鍛冶雅夫	22. 大鍛冶幸子	23. 別所 三郎	24. 伊藤 武雄	25. (田端 裕)
26. (岩佐 昌夫)	27. (内山 規矩雄)	28. (金子 典芳)	29. (斎藤 常實)	

見聞きした鳥		種類数 24 種 (ドバトを含む)		
1. カワウ	2. ミサゴ	3. トビ	4. オオタカ	5. チョウゲンボウ
6. コジュケイ	7. キジバト	8. アオバト	9. ドバト	10. ヒメアマツバメ
11. コゲラ	12. アオゲラ	13. ツバメ	14. イワツバメ	15. ハクセキレイ
16. ヒヨドリ	17. シジュウカラ	18. ヤマガラ	19. メジロ	20. カワラヒワ
21. イカル	22. スズメ	23. ハシブトガラス	24. (ガビチョウ)	

# アオバズクの習性～アオバズクの観察で判ったこと・資料の所見から

山田 文則

アオバズクはいつ渡ってくるのか

4月下旬にやってきてペアになった2羽が、見やすい低い枝に並ぶのは5月の連休中です  
高麗山・花水川周辺の初鳴きの記録は4月27日～5月6日で、約9日の幅があります  
声が聞かれなくなった日は8月19日～9月15日で、約34日の幅があります

生息環境

「アオバズクは人口の巣にどんどん入る」ということを聞いたので、作ってやろうと思っている  
樹洞があること、餌が充分確保できること...クワガタ、カブトムシ、セミ、ガ、ゴキブリ、コウモリなど  
(例:平塚XY神社のタブの木の周囲はセミが抜けた穴だらけ。特にアブラゼミが多く、ゴキブリ、アブラコウモリの死骸もあった)

見分けがつかない雄と雌

のほうがやや色が濃いといわれているが、なかなか見分けがつかません

のほうが よりやや大きい...ふっくらしているといわれている

抱卵しているのが、そばで見張りしているのがらしい

雛の巣立ち後は、雛のそばに寄り添っているのが、やや離れて見張っているのがらしい

は警戒のため、やや下の枝の陣取るようです

産卵から抱卵

卵は3～5個産むようです

産卵から抱卵に入るのは5月の下旬から6月の上旬のようです

抱卵に入って約25日で孵化するそうです

巣立ちの状況

雛の巣立ちが関東平野では7月20日に集中しているのは、食料になるセミの発生に関係しているらしい  
人間の干渉が多い巣穴では、巣立ちできるようになった雛から巣立ち、以降何日かかけて順次巣立つ  
人間の干渉が少ない巣穴では、一番成長の遅れている雛に合わせて一斉に巣立つということです  
推察 静かな環境では第1子に待つ余裕があるということでしょうか？

雛の行動

巣から離れた雛は二度と巣穴に戻ることはないようです

枝には母親の近くから長男(女)、次男(女)、三男(女)、四男(女)と並ぶらしいということをXY神社で聞いた(いや、それはどうかなという人もいそうですが、私はかなり信憑性が高いと思っています。というのはXY神社の4羽をよく見たところ、母親の近くの1羽がやや色が濃いように見えました)

育ちの良い方が餌にありついて、どんどん大きくなるようです

餌取りの時間は

捕食時間は日没後40～50分と夜明け前の40～50分です

真夜中はほんのたまにしか取らないそうです

鳴き声

繁殖期は夕方に雌雄が鳴き合い、その後活動を始める

鳴き声はやや高音の「ホッポー、ホッポー」と2声の特徴です

200～300m離れていてもよく聞こえます

日没直前、見張りの が巣穴の中の に呼びかけるのか、かわいい声で「ホッポホッポホッポ」と連続して鳴く  
そうです

2004年7月2日、雛の「リリリー」という鈴虫のような鳴き声を始めて聞いた(親のあの「ホッポー、ホッポー」と2声を聞いているので、ちょっと驚きだ！)

いつ渡るのでしょうか

2001年のXY神社の観察記録では、親が7月24日にいなくなり、それから30日後の8月22日に雛の全部がいなくなった

親は雛をおいて帰ってしまうようですが、雛は帰れるのでしょうか？（遺伝子に組み込まれているから大丈夫だそうです）

10月15日過ぎまで姿を見られたというほかの資料もあります

高麗山の鳴き声定点観察の記録では、鳴き声が聞こえなくなった最も遅い記録は9月15日頃です

## 第3回 BINOS 研究発表会のお知らせ

日本野鳥の会神奈川支部の研究年報「BINOS」の11号に掲載されるテーマを中心にした研究発表会が、下記の日程で開催されます。こまたんによるアオバトの幼鳥観察、こまたんの一員の白田さんによるホオジロ類の環境選好も発表されます。皆様、お誘い合わせのうえ、是非お出かけください。

日時：10月31日(日) 14:00～16:30 入場無料

会場：横浜ランドマークタワー 13F「フォーラム横浜」会議室1

発表テーマ：

- (1) 東京湾におけるコアジサシの繁殖状況 ... 石井 隆
- (2) 大磯照ヶ崎海岸におけるアオバトの幼鳥観察 ... こまたん
- (3) 定線センサス調査の解析 ... 瀬口 雄一
- (4) 横浜市内で繁殖したつみの観察記録(ビデオ) ... 小松 洋
- (5) カワウ関連 ... 戸井田 伸一  
酒匂川におけるカワウ対策  
神奈川県におけるカワウのねぐらについて  
相模川中流域に飛来するカワウについて
- (6) 茅ヶ崎里山公園におけるホオジロ類の環境選好 ... 白田 仁志

## 8月の連続アオバト観察会は大荒れに

5月からはじまった毎月最終日曜日の照ヶ崎連続アオバト観察会。8月は29日に予定されていましたが、台風が日本海を通過中で大荒れの天候となってしまいました。午前5時頃は引き潮で波は非常に高いのですが、観察ポイントの防波堤までは届きません。雨はそんなに激しいふりではありませんが、傘なしではいられません。それよりも北東からの強風が吹きつけるため、ポーッと立っていると海の方へ吹き飛ばされそうになります。

アオバトも強風と高波を恐れてか、サンダースホームの森までは来ているのに照ヶ崎へは飛んできません。西湘バイパスを飛び越えずに引き返してしまいます。結局第1陣が岩場に降りたのは8:30でした。

こんな中を茅ヶ崎からのお二人をはじめ、こまたんメンバーを含めて20名の参加者が集まりました。10時までの観察で飛来回数2回、飛来数は32羽だけでした。9月26日は連続アオバト観察会の最終回です。皆さん照ヶ崎に足を運びましょう。台風が接近しないことを祈りましょう。

### 【お知らせ】

#### 定例カウント調査

吉沢 & 土屋 10月2日(第1土曜日)

鷹取山 10月9日(第2土曜日)

午前6時に、高麗ハイツとなりの駐車場(青空市場)に集合。午前中に解散。雨天中止

#### 問い合わせ・連絡先

岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

# 鳥 報

こまたんメンバーのフィールドでの観察記録から主なものをご紹介します。

## アオバト情報

### 照ヶ崎への飛来情報

日付	観察時間		天気	飛来回数	飛 来 数		備 考
	開始	終了			総 数	瞬間最大	
8/8	6:00	10:00		52	1,126	75	今年は台風の接近数が多く、高波に吞まれるアオバトの犠牲もでています ・ 8/19 6羽 ・ 8/25 13羽 ・ 8/26 1羽 ・ 8/27 1羽  砂浜の波打ち際で吸水 ・ 8/21 9:55 4羽 (2羽は幼鳥)  幼鳥の出現率が徐々に多くなり、8/20以降は15~23%を占めている  アオバト以外の鳥 (順不同・主なもののみ) ソリハシシギ、ササゴイ、イソヒヨドリ、キアシシギ、キョウジョシギ、トウネン、アジサシ、クロサギ、チュウシャクシギ
8/10	6:00	10:00		87	1,492	100+	
8/11	4:25	10:00		84	1,996	140+	
8/12	6:00	10:00		64	993	80+	
8/13	6:00	10:00		67	1,357	70+	
8/15	6:00	7:30		6	81	27	
8/16	6:00	10:00		67	1,467	80+	
8/17	6:00	9:00		58	1,448	110+	
8/18	6:00	10:00		39	396	35	
8/19	6:00	10:00		68	2,201	110+	
8/20	6:00	8:55		63	1,559	80+	
8/21	6:00	10:00		100	2,412	100+	
8/22	6:00	10:00		63	1,212	80+	
8/23	6:00	10:00		37	666	74	
8/24	6:00	10:00		36	648	75	
8/25	7:00	10:00		77	2,302	160+	
8/26	6:00	10:00		73	1,503	80+	
8/27	6:00	10:00		47	905	80+	
8/28	5:20	10:00		29	286	50+	
8/29	4:30	10:00		2	32	17	
8/30	6:00	10:00		60	1,029	49	
9/1	6:00	10:00		74	2,005	190+	
9/5	6:00	10:00		12	71	15	

### その他の場所でのアオバト情報

8/11 平塚市東豊田 1羽声、8/13 ヤビツ山荘 5羽、8/14 山北町平山 6羽、8/17 熱海ビーチライン 3羽、8/19 西湘バイパス二宮 4羽、8/26 ヤビツ峠 15羽、9/4 国府津 20羽

### その他の野鳥情報

モズの高鳴き : 8/13 平塚市豊田打間木 1羽、民家の竹のてっぺんで「キキキキ」を繰り返す

9/3 には同じ場所で 2羽が5m 位離れてとまって、高鳴きを繰り返していた

タカの渡り? : 8/22 照ヶ崎 ... ハチクマ 2羽、サシバ 6+2+3羽、チョウゲンボウ 1羽

シギ・チ : 伊勢原街道「高砂」付近の休耕田 ... 8/9 ケリ 23羽、クサシギ、コチドリ

8/22 ケリ、ヒバリシギ、コチドリ 8/29 クサシギ 3羽、オグロシギ 4羽、アオアシシギ、タシギ 3羽

8/31 オグロシギ 4羽、キアシシギ 5+羽、タカブシギ、アカエリヒレアシシギ 2羽、エリマキシギ、ウズラシギ

センダウムシクイ : 吉沢・鷹取山...メジロの群れと一緒に行動している(8/10、8/25、9/1)

次回の定例探鳥会は2004年10月10日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第211号/9月号 発行所:こまたん

齋藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www.komatan.jp/>

日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/>